



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1995-96

Act with Integrity
Serve with Love
Work for Peace

真心の行動 ● 慈愛の奉仕 ● 平和に挺身
1995～96年度・国際ロータリーのテーマ／ハーバードG.ブラウンRI会長

●本日の例会

4月26日／第460回例会

■ビュッフェスタイル例会のため卓話はありません

(会場：シリウス 36F)

●先週報告

4月19日／第459回例会

■幹事報告

5月10日(金)例会後、本年度・新年度合同理事会を開催いたします。(1F 朱鷺の間)

■親睦活動委員会報告(川鍋委員長)

①5月度の火曜会を7日に、時間、場所等はいつもの通りに行います。渡部一元会員より「当クラブ会員のための経営講座」というお話を伺う予定です。当日は連休明けの初日ですので皆様お忘れなき様多数ご参加下さい。

②本年度最後のゴルフコンペを5月30日(木)、程ヶ谷C.Cにて5組の予定で行ないます。新緑もさわやかな時期ですので皆様どうぞ奥様お誘いの上是非ご参加下さい。

■社会奉仕委員会報告(入沢委員長)

アメリカンハナミズキ開花のご案内を東京新橋RCさんより下記の通り頂きました。社会奉仕、環境保全委員会は昨年10月24日JR新橋駅前に千代田分区13クラブの共同事業として「ゆりかもめ」開通記念にあわせ贈呈しましたハナミズキ(港区の木)が5月2～6日頃満開の予定です。なお、「ゆりかもめ」は大変好評でありまして、その利用者は今日(4月18日)にも500万人を突破するとの事で乗客の目を楽しませてくれているものと思います。皆様にも是非ご観賞いただきたくご案内申し上げます。

■創立10周年記念行事実行委員会・年史委員会報告(武下年史副委員長)

10年史発刊にあたり、当クラブ全会員の皆さんに執筆をお願いします。テーマは「私とロータリー」、文章は154字(ヨコ22字の7行)です。締切は7月26日(金)でお願いします。年史発刊は'97年1月末の予定です。

■慶事披露●P・H・F表彰／宮武保義君 誕生日祝／村川 優君(4月23日)

■出席報告●会員71名・出席53名・欠席28名(出席規定免除者2名)

ビジター(7名 敬称略)／高野信一(東京江東)、笠井信雄(東京麹町)、成瀬 勝(東京原宿)、櫻谷隆夫(東京築地)、中根 宏(東京芝)、植村 剛(東京芝)、津室隆夫(東京南)

ニコニコBOX

順不同・敬称略
4月19日／16件 70,000円
95～96年度累計1,889,563円
多額のご寄付を有難うございました。

村川 優、小杉真史、宮武保義、青野信次、河原勢自、関 征春、新保國彦、大村富俊、荒木昭文、入沢頼二、川鍋二郎、吉岡琢磨、宮川弘信、柴田陽三、小湊雅亮、山下忠治
紙面の都合上コメントを省略させて頂きました。

●5月行事予定

3日(金) 休会[憲法記念日]
7日(火) 火曜会 東京全日空ホテル 37F アストラル 17:30～19:00
10日(金) 本年度・新年度合同理事会
東京全日空ホテル 1F 朱鷺の間 例会後 13:40～15:00
15日(木) 96～97年度地区協議会 京王プラザホテル 10:00～16:00
24日(金) 96～97年度千代田分区会長・幹事連絡会
キャピタル東急ホテル B1 中華料理 星ヶ岡 18:00～
30日(木) 親睦ゴルフコンペ 程ヶ谷カントリークラブ 8:20集合

●他クラブ例会臨時変更

4/30(火) 休会→東京日本橋RC、東京新橋RC、東京みなとRC
5/1(水) 休会→東京城西RC、東京日本橋西RC
5/2(木) 休会→東京南RC

●次週5月3日(金)は休会[憲法記念日]です。

●次々週予告

5月10日／第461回例会

■卓話予定「表装の話」

当クラブ会員 谷村 義雄 君

●ロータリー情報とは

宮武ロータリー情報委員長

ロータリー情報とは? 改めて問い直してみると、簡単に説明することは難しい。「手続要覧」の巻末のR用語語彙を引いてみると、R情報の定義が載っている。そこには次の様に記されている。〔1〕ロータリーの綱領、原則および発展と四大奉仕部門に関する会員の理解をはぐむこと。2) ロータリアンひとりひとりがロータリーの理想に自ら献身し奉仕することにより責任感と理解を養うこと。〕「手続要覧」にはまた、幾つかのR情報に関するR理事会決定事項が記載されている。これらは夫々、ガバナーを始め、クラブ、クラブ会長、そしてクラブのR情報委員会に対し、R情報の方針と手続を示したものである。

「手続要覧」のこれらの記事をよく読んでみると、R情報とは、ロータリークラブ活動そのものであり、会員の総てに深く関わっている基本的事項であると思われる。そして、R情報を、クラブ会員の知恵と義務という二つの切り口で考えてみた場合、前者は特に会員の広範なクラブ活動を通じて得られるものであり、後者は主としてR情報委員会の活動に求められる部分ではなからうか。

さてロータリークラブの会員は、R情報にどのような機会に接するか? 三大情報源としては、「クラブ週報」「ガバナー月信」「ロータリーの友」と云われているが、これに「ロータリーワールド」をつげ加えなければならぬ。例会出席(メークアップを含む)は会費納入、「友」の購読と共にロータリアン三大義務の一つであり、もとよりR情報最大の吸収源である。四大奉仕活動には、夫々会員全員が参加しており、各種委員会活動は、参加して始めて触れることの多いR情報の宝庫である。その他クラブ協議会・クラブフォーラム・火曜会・炉辺会合などの各種クラブ活動、地区大会・地区協議会などの地区活動、IMなどの分区分活動などロータリアンの活動の場は広い。また、会員候補者や新会員には、R情報委員会の各種プログラムが用意されている。

本日は、R情報について皆で考えてみようというクラブ・フォーラムである。横山雑誌委員長、青野R情報副委員長、田島R情報委員、小杉新会員には、夫々のお立場からのコメントを予定しているが、その後会員の皆様から、R情報委員会に対する御注文を始め、クラブ活動全体についての活発な御意見を願いたい。

●「ロータリーの友」の活用と問題点

横山雑誌委員長

4月は雑誌月間です。ロータリー情報の一環として「ロータリーの友」に対する認識を深めていただくため、このテーマを取り上げました。

資料としては「友」掲載のガバナー座談会他を利用し、このテーマに関するコメントをピックアップしてまとめてみました。多岐にわたり活用と問題点につき論議されていましたが、我々なりにまとめてみると以下の事をポイントとして問題提起(要望)できると思います。

1. 編集上: ロータリーの指針となるような記事を、わかりやすく歴史的な観点を踏まえて継続的に掲載。
プロジェクト等の情報をより詳しく、より早く開示。
2. 会員の方々に: 「友」のバックナンバーを保管して、機会のあるごとに(アンチョコとしても)読み返す習慣を。
「読む」から「活用」するレベルへ
3. 雑誌委員会として: 読みどころ紹介等の地道な活動を粘り強く継続し、折に触れ「友」の活用につき問題提起に努める。
いずれにしろ、雑誌委員会が、ロータリー情報の宝庫である「友」を最大限に活用した(させられた)ことに最大の意義があったのかも知れません。

●提言(1)新会員の立場から

小杉会員

1. 驚嘆させられた事(失礼ながら感心した事)
(1)何年もの間、例えばメークアップしているとはいえ、出席100%をよく続けられるものだ。自分も出来るだろうか。(今のところ100%出席ですが、何時駄目になるか心配)
- (2)役割分担に対し誰一人不平を言う人もなく、当たり前活動されている。例えば会長経験者といえども、ニコニコボックスの担当をなさたり、受付をしたり、写真を撮ったり……私の常識からすれば新人や、若い人が……と相場が決まっている。(偉い人は動かないのが社会の通例?)所謂平等の精神が、ごく自然に行き渡っている。
2. まだ良く判っていないこと(説明は受けたのですが)
(1)区域限界を決められているが、それ以外の区域からも参加されている。どの様な解釈によってOKなのか?
- (2)職業分類によって一業種一名となっているが、解釈の仕方で入会出来る。職業分類が優先かそれとも人物なのか?
3. お願いごと(僭越ながら私見です)
(1)例会の出席は義務づけられ、会員の自覚として当然といえばそれまでであるが、その他の会合の出欠席に対する考えを持ては如何か? 例えば火曜会、クラブ協議会、旅行会(工場見学)、新会員歓迎会等、全部出席の方の表彰とか特典。何故ならそれぞれを企画され、一人でも多く参加して頂くという御苦労された方々に対する感謝と、各自お忙しい中、調整しながら参加される方々への感謝という意味からも……
- (2)新南RCは南RCがスポンサーと言われていますが、現在全く交流が

ないように思われます。別に交流することによるメリットがあるのかどうか判りませんが、他クラブとの交流という意味で何か当クラブにとっての情報交換をはじめ、同規模の姉妹クラブとの定期的なミーティングの中から更に一歩も二歩も先進的なクラブになるようなことは如何でしょうか。(人の輪も増えるように思いますが……)

●提言(2)幹事の経験から

青野ロータリー情報副委員長

入会当初からロータリーについて色々な場で学んできたが、私にとって特に勉強になるのは、すばらしいロータリアンの言動です。言われることなされることを側から見ていただけで大変学ぶことが多いものです。又、入会まもなくR情報委員に任じられ、R情報の大切さを学びました。その後、幹事、委員長、地区委員などの役を賜り、ロータリーについて語り合う機会がふえたことにより、私自身のロータリーに対する理解の浅さを痛感しています。又同時に責任ある役につくことによりロータリーについて学ばざるを得なくなり、入会当初に比べるとつたないものではありますが少しは分りかけてくるようになりました。

ロータリークラブは人間の集団です。そこに所属する会員は自ずとロータリーの発生、ルール、考え方、現状などを把握し理解する必要があります。正しく理解するためには良き指導者の存在と同時に会員一人一人が自からその責任を果すため、汗水流して努力することにより得られる部分も大きいように思われます。

ロータリーを正しく理解している会員が少なくなると、ロータリーという名にふさわしくない思わぬ方向にクラブ全体が行ってしまう恐れがあります。

ロータリーを正しく理解するためにもR情報は大切です。毎年同じことの繰り返しでも、つねに情報を提供し会員にその重要性を認識して頂くことを忘れてはならないと思います。

●提言(3)元会長・ロータリー情報委員長として

田島ロータリー情報委員

今日のクラブ・フォーラムの提言の最後をつとめるよう指名をうけたが、格別の提言というほどのものを持ち合わせている訳ではない。R情報委員会に関しては、ロータリークラブ細則によると、各委員の任期が3年で単年度でないこと、また会長エレクトまたは副会長が委員会の仕事を監督、調整するということが規定されている。これらの点からみると、他の委員会に比べてややウエイトがおかれているように思われる。これは何故であろうか。

ロータリーが今後より発展するという事を前提とすれば、それには2つの条件が必要ではないか。

- 1) ロータリークラブにおいて、ロータリアンがロータリーの知識を得てロータリーを十分に理解し、それによって奉仕の実践に献身するように動機づけられ、ロータリー活動が活性化される。
- 2) 地域社会において一般の人々がロータリーを認めて、ロータリーを高く評価する。

ということである。前者の「ロータリー活動自体が活性化される」ことについては、R情報委員会の任務であり、また後者の「社会の人々がロータリーを高く評価する」ことについては、広報委員会の任務である。そこでR情報委員会の仕事は、どのような内容の情報を、どのような方法で会員に伝達して習得してもらうかということである。それにはまず委員自身が情報を学び、伝達の方法を選び、根気よく実施することが大切ではないかと思われる。良識ある職業人がロータリーの理念を自然に身につくように呼びかけ、ときにはロータリーに対して懐疑的な相手の意見を引き出し自由に討論するゆとりを持つことができれば幸であると考えている。

●まとめ

最後にR情報委員でもありアドバイザーの田辺会員に総括のお話をいただいた。

「ロータリーの情報」そして「ロータリー情報委員会の務め」は大変難しいが、ロータリーの情報とは会員自らが情報を取得することに努力することが大切であり、R情報委員会はそれをアシストする役目である。

ロータリーの情報は、大きく分ける三つに区分することが出来る。第一は、R情報委員会の名称が当初「ロータリーの理念に関する委員会」と言われていたごとく、ロータリーの根っこにあたる基本理念・思想について勉強をし、理解を深めることである。

第二は、ロータリーの制度・運営に関する事項でこれはロータリーの組織・制度・規約・方針・手続等を知ることであり、国際ロータリークラブ定款・同細則・標準ロータリークラブ定款・推奨ロータリークラブ細則及び「手続要覧」等で勉強することが出来る。

第三は、最新のロータリーに関するニュースを収集し、活用し心がけることである。

出席者(33名・敬称略)

青野、荒木、馬場、伊部、入沢、石坂、岩瀬、梶内、河原、川鍋、小澁、小杉、宮武、村川、村山、二宮、西澤、大日方、佐藤、関、柴田、岡、四分一、新保、田島、武下、田辺、田中、渡邊、山川、柳澤、保森、横山、吉岡

東京新南ロータリークラブ

会長: 山川政樹 副会長: 柴藤清三郎 幹事: 関 征春

〒107 東京都港区赤坂 2-19-8 赤坂 2 丁目 アネックス 3 階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂 1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

荒木 昭文、清原 元輔、青野 信次、植田 和男、後藤 信夫、新保 國彦、相澤 成憲、吉田 用親、高橋 良士、吉岡 琢磨、大村 富俊(編集担当順)